



# 外来診療担当表

午前の診察

※保険証は毎月必ず総合受付へご提示ください。 平成26年1月1日現在

担当科	内科						小児科	乳腺センター	外科		整形外科			脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	総合内科
	1診	2診	3診	4診	5診	6診			1診	2診	1診	2診	3診							
月	高屋	永井	山内	鶴見	田中	齋藤	大西	山本	高橋	加藤	益田	高見	佐藤	石澤	水谷	小林				
火	縄田	早川	堀部	奥野	高屋	齋藤	木村	山本	石原	田中	当番制					小林	森	西田		
水	早川		足立		湊口	山内	大西	山本	石原	棚橋	益田	高見	山口	中山		小林			老田	
木	永井	小野木	奥野	岩間	縄田	齋藤		石原	高橋	田中	益田	山口	佐藤		小林	鈴木				
金	高屋	縄田	堀部		永井	齋藤	松井	高橋	山本	加藤	山口	高見	佐藤		安達	小林		望月		

産婦人科…9:00～11:30(火・木曜日のみ)  
脳神経外科…9:00～11:30(月・水曜日のみ)

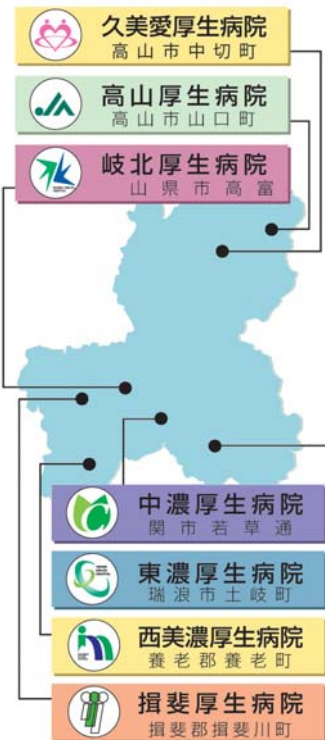
眼科…8:30～11:30(火曜日)  
9:00～11:30(第1、3、5金曜日のみ)

午後の診察

■耳鼻咽喉科	月曜日	14:30～16:30	■禁煙外来	木曜日	13:30～15:00(予約制)
■神経内科	月・水曜日	13:30～16:30(予約制)	■乳腺センター	木曜日	14:00～15:00(完全予約制)
■血液内科	火・金曜日	14:00～16:30(予約制)	担当医の出張などにより休診、代診となる場合があります。又診療曜日は毎月変更となりますので事前にご確認ください。		
■放射線治療	木曜日(完全予約制)				

休診日 土・日・祝祭日・年末年始

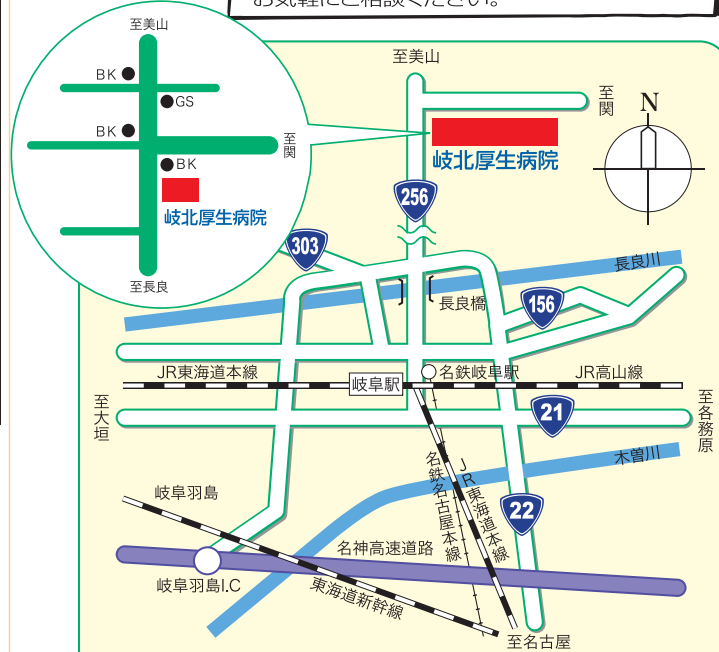
看護師・看護補助員募集中



●岐阜県厚生連病院所在地

## 医療福祉相談室

在宅や病院での療養上の相談、退院に向けての助言、援助を行っています。お気軽にご相談ください。



### 交通機関のご案内

岐阜バス(岐北病院前 下車)	
岐北線(県庁・新岐阜経由)	谷合行・塩後行
板取線(県庁・新岐阜経由)	板取門原行
高美線(県庁・新岐阜経由)	中濃庁舎行・美濃行



ボランティアの方を募集します。

…詳しくは医療福祉相談室まで…

# 青空

## 病院の理念

- 1.医療活動を通じ、健やかなまちづくりに貢献
- 2.地域連携の積極推進により、利用者にとって最良の医療を実践
- 3.つねに病院運営の刷新を図り、「愛され、信頼される病院」を実現

岐北厚生病院 広報誌 2014.1.1発行

2014 冬号 Vol.59

- 年頭のご挨拶
- 大腸癌について
- 部署紹介「サンサン・訪問看護ステーション」
- 病院クリスマスコンサート
- 外来診療担当表
- その他

59号目次



JA岐阜厚生連 経営管理委員会 会長 堀尾 茂之



JA岐阜厚生連 岐北厚生病院 院長 齋藤 公志郎

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本会事業につきまして格別なるご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

平成26年の年頭にあたり、皆様にご挨拶申し上げます。

我が国の医療を取り巻く環境は、急速な少子高齢化、医療技術の進歩、国民の医療に対する意識の変化等大きく変化する中で、国は、社会保障・税一体改革において2025年に向けて、医療と介護との機能分化や円滑な連携、在宅医療の充実、新たながん治療の導入、健康の維持増進・疾病予防等、地域包括ケアシステムづくりに取り組むとしています。

また、岐阜県においては、第6期岐阜県保健医療計画が策定され、基準病床数の見直しとともに、5疾病(がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・精神疾患)5事業(救急医療・小児医療・周産期医療・災害時医療・へき地医療)および在宅医療に係る数値目標、医療連携体制の構築、医療従事者の確保、医療の安全対策等が盛り込まれました。

本会は、国、県が示す制度改革や医療計画の方向性を見据えながら、公的医療機関として、また、地域の基幹病院として、予防医療から救急医療、急性期医療、さらには、慢性期医療、在宅医療、緩和ケアに至るまでの総合的な医療・保健事業を担い地域医療の充実に努めてまいりました。

こうしたなかで、昨年、中濃医療圏における基幹病院としての機能充実を図るため、中濃厚生病院増床整備工事に着手しました。今回の整備では、病床数を112床増床し、救命救急センター、化学治療室の拡充、専門性の高い呼吸器・消化器病センターの開設を始め、健康管理センター、保育所、災害時の備蓄倉庫の再整備を行い、平成27年3月に増築部分の整備工事の完了を予定しています。

また、今後は他病院についても耐震整備や高額医療機器等の施設整備を積極的に行ってまいります。

今後、医師不足等医療を取り巻く経営環境は厳しいものがありますが、組合員並びに地域住民に信頼していただけますよう、地域医療機関との連携をさらに強化し、より安全安心な医療体制を目指して行く所存であります。

最後になりましたが、本年が皆様方にとりまして幸多き年となりますよう心より祈念申し上げますとともに、引き続き、本会事業にご理解ご協力を賜りますようお願いを申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



新しい年を迎えました。おめでとうございます。昨年、多くの人達から当院の運営について色々ご指導いただきました。改めてお礼申し上げます。さらに当院を利用して頂いた皆様には、その期待に十分に答えることができたかどうかと省察しています。もしも何かご希望などありましたら、教えて頂きますことを最初にお願いします。

さてこの紙面を用いて、昨年から今年にかけての当院の新しい取り組みについて述べてさせていただきます。昨年は岐阜大学医学部地域腫瘍学講座と連携して、消化器がん撲滅運動を開始しました。まずは健康診断活動を充実させることから始めました。それと共に外来化学療法室の拡張増設工事も完成させました。今まで大変狭い空間にて点滴療法など行い、利用者の皆様にご迷惑をかけておりましたが、何とか改善が図られたと思います。次いで緩和ケアセンターを開設し、そのための入院病棟も造りました。これは、近年我が国全体で整備することが急務とされている緩和医療体制を、この地域でも充実することを目的とした事業です。

さて、このように新年早々から癌診療の話ばかりを持ち出して、違和感を覚える人もあるかと思いますが、しかし敢えてこのように述べているには理由があります。最近しばしば出版物にて癌診療についての無責任な見解が示されています。その一つとして健康診断とか、手術治療や化学療法などに対する反対意見があります。しかし、そのどれをとっても適切な方法で行えば実際に大変有用であることは学問的に証明されています。また何十年にわたる私個人の医師としての経験からも、これらのお陰で命を助けた人達を多く知っています。だからこそ私はその重要性を皆様にご知らせし、癌と積極的に戦っていただきたいと思っています。そのための施設と実診療技術の提供体制を、我が病院で充実させることが重要だと考えています。新年早々から肩苦しい話題提供で恐縮ではありますが述べさせてもらいました。適切な対応により癌を治すことができる時代となりました。

最後となりましたが、本年皆様にご幸福が訪れることを願ひまして挨拶いたします。

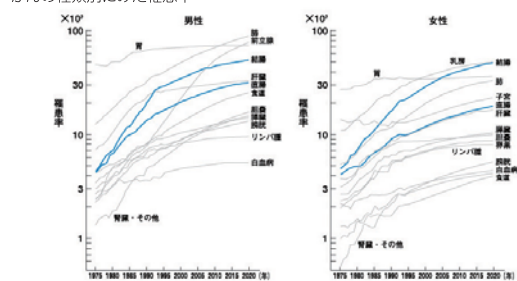


外科医師  
加藤 千佳

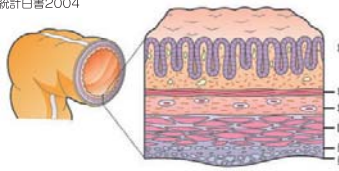
# 大腸癌 について

大腸癌罹患率（大腸癌にかかる人）は近年、生活様式の変化から増加しており、2020年には胃癌、肺癌を抜き、男女ともに1位になると予測されています。しかし、大腸癌で死亡する人は罹患者の約3割と言われており、これは大腸癌の生存率が比較的高く、治りやすい癌であることを示していると考えられます。そのためには定期的に大腸癌検診を受け、早い段階で癌を発見することが重要です。これにより命を落とすという最悪の事態を避けられる可能性が確実に高まります。40歳を過ぎると罹患率が上昇しますので、40歳になったら、1年に一度は検診を受けるようにしましょう。現在の大腸癌検診では、便に血が含まれているかを調べる便潜血検査を最初に受けることが勧められています。この検査は今までに行われた複数の臨床試験を含め、科学的に高い多くの研究で死亡率が減少するという効果が認められています。

がんの種類別に見た罹患率



出典：がん・統計白書2004



大腸癌の発生についてですが、大腸の壁は幾つかの層が重なって形成されており、その最も内側は「粘膜」で覆われています。大腸癌はまずその粘膜から発生し、進行するにつれて下の深い層まで広がっていきます。最初はポリープと呼ばれる良性腫瘍の状態、それが次第に悪化することが多いため、ポリープの段階で内視鏡的に切除できるとよいのです。

大腸癌と診断された場合の治療は、癌が粘膜～粘膜下層の浅い部分にとどまっている段階では、内視鏡的に切除が可能であり、患者さんにとっても負担が軽くなります。それ以上深い層に広がっている場合やすでにリンパ節への転移が認められる場合は手術の適応となります。開腹での手術はまだ一般的ですが、近年では小さな傷で行うことができる腹腔鏡下での手術も増加してきており、当科でも比較的早い段階の病変を適応として腹腔鏡下手術を行っておりますので、ご相談ください。

# Sun・サン訪問看護 ステーション

## 2F 部署 紹介



Sun・サン訪問看護ステーションは当院の2階にあり、訪問看護・ケアプランセンター・医療福祉相談室の3部署が連携して地域の方々在宅療養を支援しています。訪問看護は、看護師6名が在宅で療養されている方々の自宅を訪問し、主治医の指示のもと療養上のケアや援助を行なっています。地域の方々に、住み慣れた環境で安心して療養生活を送っていただけるよう、なんでも相談できる身近な存在を目指して日々頑張っています。

またケアプランセンターは、介護を必要とされる方が在宅で適切に介護保険サービスやその他のサービスを利用できるように、2名の介護支援専門員（ケアマネージャー）が心身の状況や生活環境、ご本人・ご家族の希望に沿って、居宅サービス計画書を作成し、さまざまな介護サービスの連絡・調整を行っています。

さらに医療福祉相談室では、2名の医療ソーシャルワーカーが外来・入院中の方の療養上の相談・支援を行っています。その他にも、医療費の相談や社会福祉制度のご案内などを行い、安心して治療を受けられるよう支援しております。

このように当院では在宅支援体制が充実しておりますので、何かお困りのことがありましたら、お気軽にスタッフにお声をおかけください。

### 岐北厚生病院 クリスマスコンサート 2013

平成 25 年 12 月 10 日に、3 B 病棟の食堂・デイルームにてクリスマスコンサートを開催しました。前年までは外来待合ホールにて開催していましたが、今年は病棟での開催とし、開催時間も午後 3 時からとしたことから、多くの入院患者さんにお集まり頂きました。

今回は、ヴァイオリン奏者であり音楽療法士でもある濱島秀行さんと、キーボード奏者の民谷美緒さんをお招きして、クリスマスに因んだお馴染みの楽曲を演奏して頂きました。心温まる演奏に、参加して頂いた患者さんや病院スタッフはみな笑顔でした。